

棚沢会長への質問事項（懸案の出版を考慮してストーリーを聞きだすこと）

0. 会長が考えている望ましい企業像、組織像とはどのようなものですか
—どんな組織（企業）になっていくことを目指されて努力していますか—

1. 障害物レースが創業、5、6年目にあったとは具体的に何か？内部統制を作ることで、会社の経営理念が明文化され、内外に明示され、そこから経営理念の社員教育も始まったのですか？

1-2. 経営理念は誰が、何時、どのように策定されましたか？ 理念形成にあたり、その時代の社会動向からの影響は？ 影響を受けた人はいるのか。

企業家としての成長と企業発展の関係性はありますか？

自分の体験した難病（筋無力症）のこと。

現代禅研究所（赤根祥道先生）、経営道フォーラム（山城先生）、日本経営道協会（市川）

1-3. 経営理念は不変的か、これまでに改訂したことはあるのか？

創業時の想い、その明文化への経緯とは？ 年代とともに考えに変化があったか。

2. 危機意識と経営理念との関係についてお聞かせ下さい。（会社の存続、発展と経営理念との関係）

3. 会社の部署、役職の違いと経営理念や行動指針の浸透との関係についてお聞かせ下さい。浸透の仕方。時代ごとの体験。

4. 経営理念に込めた会長の想いと社員の想いと温度差、意識の差をどのように克服して来ましたが？（経営理念の浸透）

5. 経営理念と毎年のモットーとの関係について

6. 会社の後継者・後輩や次世代の人たちに伝えたいこと。経営理念との関係は？

7. **女性経営者**として40年間経営に関わったことから、自社や他社と比較しながら、**女性経営者**としての独自の経営理念はありますか？ Cf. 男性中心の経営者との違いがありますか。

8. 今後の**女性の活躍**、**若手の女性企業家**へのメッセージ。